令和３年度　大阪府立花園高等学校　第３回学校運営協議会記録

１　日　時　　令和４年３月 15 日（水）　　書面開催

２　出席者　　協議会　会長　　学識経験者

委員　　学識経験者　中学校校長　本校ＰＴＡ会長　地域住民、本校関係者

校長　教頭　事務長　首席　教務主任　生徒指導主事　進路指導主事

３　協　議

(1) 令和３年度学校経営計画評価及び令和４度学校経営計画（案）報告

コロナ禍における学校の状況について

・ＩＣＴ機器の活用について、生徒から一定の評価を得ているが、反面コロナ過で業務量が増大している中、研修が必要になり教員の多忙感が増大した。

・学校経営推進費を得て、図書館の改革に取り組み、図書貸出冊数は 10 倍以上に伸びた。次年度よりさらに図書学習情報センターの本格的な活動を進める。

・夏期休業中に集中勉強会を実施するなど継続した粘り強い指導の結果、難関私立大学への合格者数が大幅に増えた。

・国際文化科への再編・新学習指導要領・高大接続改革への取組

ＷＥＢ交流を実施した。今年度はコロナ過があった反面、各教室への Wi-Fi アクセスポイントの設置や図書学習情報センターの開設など、ＩＣＴ機器活用の環境西部が大きく進んだ。次年度は計画的に研修を配置し、教員の技量の向上に努めたい。

(2)　第２回 授業アンケート　今年度第１回アンケートとの比較

・例年に比べ、１回目と２回目で向上した項目が３項目と少なく分析が必要。しかしその中でもＩＣＴ活用については数値が上昇しており、次年度のさらなるなる活用に向けて、手ごたえを感じる。

４　委員からの主な提言

・志願者数は学校への地域からの評価の一つの目安。今年度の志願者数の減少について、分析が必要。花園高校の強みについて広報戦略も必要ではないか。

・コロナ過については、まだまだ終着点が見えない。難しいかもしれないが、行事予定については余裕を残して組むほうが良い。

・これからの教育においては、情報リテラシーと国際感覚の涵養が特に重要になってくると考える。今の取組みをさらに発展させて行って欲しい。

・自由な校風の中、文武両道を実現できる素晴らしい学校だと思う。コロナ過が落ち着けば、もっと保護者と協力をして学校を盛り立ててほしい。学校の指導の表面的な部分しか見ていない意見をネットで見ると、とても残念に思う。

・ＩＣＴの積極的な取り組みはますます増えてくる。快適なネットワーク環境と堅牢なセキュリティを保つためにも専属のＳＥを配置することがぜひとも必要である。